

CT 検査についての説明書

1. CT とは？

エックス線 (X 線) とコンピューターを使い、輪切の絵を連続して写すことで、身体 (頭部、躯幹部、四肢) の内部構造を精密に検査する手段です。

検査はほとんど苦痛をともしませんが、息止めや体を動かさないなどの制約があります。

2. CT 検査の必要性

臨床症状や血液・尿検査などの結果から、身体の内部の状態を精密に検査したい場合に、必要になります。

3. 他の同じような検査

超音波を利用したエコー検査や磁石を利用した MRI 検査などがあります。それぞれ特徴のある検査ですが、一般には、その特徴を利用して、そのうちいくつかの検査を順序立てて行います。

4. 放射線 (X 線) 被曝の影響

放射線はガンの発生に関係することが言われています。そのため unnecessary 検査はできるだけ行わないようにしていますし、最近の機器の発達と放射線を取り扱う関係者の努力により、X 線被曝の量は十分に小さくなっています。放射線の人体への危険性は喫煙や交通事故の危険性よりずいぶん小さいので、検査を受けることによって得られる利益の方が放射線で受ける危険性より大きいと言えます。

ただし妊婦や小児は、放射線の影響を受けやすいのでご相談ください。

(妊婦またはその可能性のある場合は基本的に検査を受けられません。

また、小児の場合は極力最低限の被曝量の検査になるように心がけています。)

5. 来院時の服装

貴金属類はなるべく身につけないで来院して下さい。検査部位によっては、金属類は検査前に取り外したり、検査着に着替えて頂くことがあります。

6. 検査中に守ってほしいこと

検査中は、安全な検査を行うため、また正確な検査をするために、指示された時以外は体を動かさないで下さい。

操作室からテレビモニターで見えていますので安心して下さい。

また、マイクも設置していますので、何かありましたら話しかけてください。

7. CT 検査日

検査日時：
